



EALAI 研究セミナー第7回

惑星漢学 (Planetary Sinology) の可能性を開く ——東アジア藝文書院の実践と共に

6月24日(火) 12:10-13:00

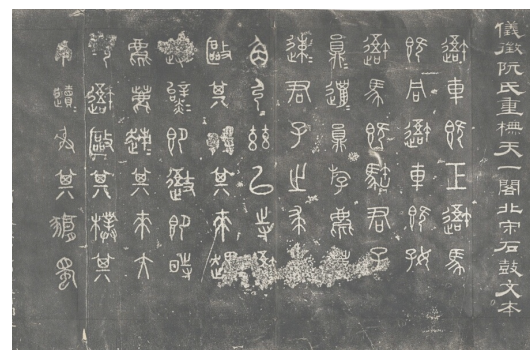
駒場キャンパス101号館11号室 (EAAセミナー室)

オンライン: Zoom(事前登録制) 登録リンクURLは[こちら](#)

発表者 石井 剛 (総合文化研究科教授)



中国に関する研究は時に総称してサイノロジー (Sinology) と呼ばれ、日本では明治以降今日に至るまで、漢学、シナ学、中国学、またあるときには東洋 (史) 学とも重なり合いながら曖昧に把握されてきた。それは竹内好の批判やカルチュラル・スタディーズにおけるいわゆる「West and the Rest」批判などが具像化されたジャンルであるとも言える。だが、近年「惑星的思考 (planetary thinking)」なる方法論においてサイノロジーをとらえ直そうとする気運が生じている。このセミナーでは、東アジア藝文書院における研究活動を紹介しながら、「惑星漢学」の可能性とその発展に向けた課題について展望したい。



司会 岩月 純一 (総合文化研究科教授)